

平成21年度
事業報告書



高岡市二上まなび交流館

平成 2 1 年度 実施事業一覧

事業名	実施期間	参加人数	記載頁
科学技術週間関連事業 国 科学工作教室	4月25日(土) (日帰り)	27名	2
国 春の二上山を楽しもう	5月9日(土) (日帰り)	43名	3
異年齢生活体験推進事業 園 夏合宿 こども冒険塾	7月19日(日) ~ 20日(月) (1泊2日) 8月4日(火) ~ 9日(日) (5泊6日)	48名	5
高岡市発明協会関連事業 国 夏休み 自由工作教室	8月17日(月) (日帰り)	28名	13
国 Let's Stay 二上	9月22日(火) ~ 23日(水) (1泊2日) 9月26日(土) ~ 27日(日)	36名 37名	14
国 親子野外料理教室	10月3日(土) ~ 4日(日) (1泊2日)	19名	18
開町400年記念 国 まなびっこフェスティバル	10月17日(土) (日帰り)	約400名	20
国 秋の二上山を楽しもう	11月7日(土) ~ 8日(日) (1泊2日)	17名	24
園 クリスマスのつどい	12月12日(土) ~ 13日(日) (1泊2日)	50名	26
国 冬の二上山を楽しもう	1月30日(土) (日帰り)	49名	28
異年齢生活体験推進事業 園 なかよし合宿	11月21日(土) ~ 22日(日) (1泊2日) 1月16日(土) ~ 17日(日)	38名 37名	30
国 ものづくり体験クラブ	2月13日(土) ~ 14日(日) (1泊2日)	31名	36
国 ひな人形づくり教室	2月27日(土) (日帰り)	12名	38
定例クラブ事業 国 まなびっこクラブ	4月 ~ 3月(通年) (日帰り)	62名	39
国 まなびっこクラブ宿泊交流会	3月20日(土) ~ 21日(日) (1泊2日)	14名	43

事業名 主催事業
科学技術週間関連事業

科学工作教室



趣 旨 科学工作などの体験学習を通して日ごろの疑問を解き明かすとともに、より科学に関心をもった子ども達を育成する。

期 日 平成 21 年 4 月 25 日(土)

参加者 27 名

講 師 内澤 雅子 氏(教員 OB)
高島 英公子 氏(高岡市立成美小学校 教諭) 工作活動の指導を依頼

日 程

2/27	9:00	9:30	9:45	10:15	11:20
(土)	受付	開講式	科学実験 CO ₂ の性質	科学工作 ロケット-CO ₂	閉講式

事業の様子

科学実験と工作活動 ~ CO₂ の性質・ロケット CO₂ ~

地球温暖化などの環境問題で話題の二酸化炭素(以下、CO₂)を取り上げた。まずは CO₂ の性質を調べ、その後工作活動に入った。工作では、入浴剤の入ったフィルムケースに水を入れて CO₂ を発生させ、ロケットのように飛ばすものである。実際に飛ばしながら “ どうしたら遠くまで飛ばすことができるか ” を考え、工夫を加えながら、科学への関心を深めた。



ロケットはうまく飛ばせたかな

事業を振り返って

参加した児童は、ここで行った実験を「家へ帰ってもやってみたい!」と言っていたことから、「自分で考え工夫してみる」という科学工作の意図が伝わっていたようで良かった。

次年度は、定例クラブ事業の「まなびっこクラブ 科学工作教室」に組み込むため、参加者が限られてしまう。より多くの児童に体験してもらおう方法を摸索しなければならない。

担当：五十里 祐子

事業名 主催事業

春の二上山を楽しもう



趣 旨 ナチュラリストの案内で、春の二上山を散策し、自然と触れ合うとともに、春の食材を使って野外料理に挑戦し、参加者同士の交流を深める。

期 日 平成21年 5月 9日(土)

参加者 43名 ボランティア 2名

講 師 山下 眞佐子 氏(富山県ナチュラリスト協会)
山下 佳子 氏(富山県ナチュラリスト協会) 自然観察活動の指導を依頼

日 程

5/9	9:00	9:15	9:30	10:45	13:30	16:30
(土)	受付	開会式	クラフト活動 竹とんぼ・竹はし作り	野外料理活動 竹の子料理	自然観察活動 二上山の散策	閉会式

事業の様子

クラフト活動 ~竹とんぼ・竹はし作り~

参加者に「竹とんぼ」か「竹はし」のどちらを作るか選択してもらい、それぞれに制作した。小刀を使っての作業となるので作り方はもちろん、小刀の使い方などの説明も行い、安全面への配慮も心がけた。

竹とんぼを作り終えた参加者は、実際に飛ばしてみても楽しんだり、改良を加えたりなどしていた。また、竹はしを作った参加者は、昼食時に使えるよう煮沸消毒をし、野外料理に備えた。



うまく削れているかな？



ちゃんと飛びました！

野外料理活動 ~竹の子料理~

本事業は「春」をテーマにしていることから、春の食材を使った野外料理を毎年行っている。当館の周辺には竹林もあり、「竹」に親しむ環境が整っていることもあり、竹の子料理を行っている。本年度は、恒例となっている竹の子ご飯に加え、竹の子の炒め物と味噌汁も作り、竹の子づくしの野外料理となった。



竹の子料理に挑戦！



おいしそうに出来上がりました！

自然観察活動 ～二上山の散策：ネイチャーウォッチング～

本事業のメインともなるネイチャーウォッチングでは、富山県ナチュラリスト協会の自然解説員を務める先生方をお招きし、指導員では解説できない「春の二上山」の自然を解説していただいた。参加者は、先生方の解説を聞きながら「春の二上山」の自然に親しむことができたようだ。



みんなで記念撮影



竹の子も見つけたよ

事業を振り返って

子ども達にとって、当館や二上山を利用しいろいろな活動に取り組むことは、非日常的な体験となり、プログラムの一つひとつが感動的なものとなったようである。参加者の中からは、「楽しかった」「また来たい」という感想が圧倒的に多く、この事業で春の二上山を楽しめたようだ。

担当：薬師 孝博



2009.5.10 富山新聞(朝刊)



2009.5.10 北日本新聞(朝刊)

事業名 委託事業

異年齢生活体験事業

夏合宿 こども冒険塾



趣 旨 小学4～6年生の子ども達が、1泊2日の異年齢集団による共同生活を体験し、自主性や協調性、社会性を育てる。

また、事業運営の重点として、次の点を目的・目標として設定した。

目 的：日常生活ではあまり経験できないような活動を通して、心身ともにたくましい少年を育てる。

- 目 標：1 自分で考え、進んで行動することを体験させたい。
(自主性を育成)
- 2 辛いことを仲間と協力し合い乗り越えることにより、自分に自信をもたせたい。
(自己の確立のきっかけ作り)
- 3 余裕をもったプログラムを展開する。
(プログラム中の集中力の維持と完成度を高める)
- 4 班活動を重視し、班長を通じて連絡・指導を行う。
(役割を分担し、責任ある行動をとる)
- 5 日ごろ、学校や家庭で体験できないプログラムを企画する。
(多様な体験をさせるための活動プログラム作り)

期 日 事前説明会 平成21年7月19日(日)～20日(月)

本 研 修 平成21年8月4日(火)～9日(日)

参加者 48名 ボランティア 26名

講 師 富山県天文学会 5名 スターウォッチングの指導を依頼
川端 正夫 氏 学習の時間での音楽コースの指導を依頼
近藤 鄰 氏(教員OB) 学習の時間での読書感想文コースの指導を依頼
宝島 敏子 氏(教員OB) 学習の時間でのドリルコースの指導を依頼
長谷 真弓 氏(高岡市立五位中学校 養護教諭) 教職員6年次研修として参加
宮腰 真央 氏(高岡市立西条小学校 教諭) 教職員6年次研修として参加

事前説明会

日程

7/19		13:15	14:00	14:30	16:00	17:00	17:30	18:30	20:30	22:00
(日)		受付	開会式	班別 部屋別会議	規律 訓練	つどい	夕食	エコ体験 ハガキ作り	入浴	消灯

7/20	6:30	8:30	9:30	14:00	
(月)	起 床	朝 食	整理 整頓	野外料理活動 そばめし作り	閉会式

事業の様子

班別・部屋別会議、規律訓練

事前説明会では、8月に行う「夏合宿 こども冒険塾」に備えることを目的としている。この活動は、班員同士を知り、役割を決め、班として本研修に備えるために行っている。また、部屋別にも会議を行い、役割を決めていく。さらに、規律訓練では、本研修中でも迅速に集合・点呼などができるように練習を行った。



班会議の様子



規律訓練の様子

エコ体験 ～牛乳パックで作る紙すきハガキ作り～

当館が所在している高岡市は、今年で開町400年を迎える記念の年であった。そのため、本事業としても、高岡の歴史を感じることをテーマに掲げた。この活動では、古来の紙作り技法である「紙すき体験」を行った。また、昨今の環境問題にも目を向け、エコな取り組みとするため、パルプの素材に牛乳パックを使用し、歴史を感じながら、同時に地球環境も考えられるような活動とした。



上手にできるかな



なかなかのできばえ！

野外炊飯活動 ～そばめし作り～

8月の本研修では、館内食ばかりではなく、野外に出での炊飯活動をする事も多くなっていく。そこで、火の起こし方や道具の使い方など、野外炊飯を行う上で身につけておくべきことを体験させ、本研修に備えるために、この活動を行っている。本年は、比較的手軽にでき、鉄板・お釜の両方を使うことができる「そばめし作り」に挑戦した。



野外炊飯の説明



火起こしはばっちり？



お釜でご飯を炊きます



みんなで協力して作ります



めっちゃうまい！

本研修 ~夏合宿 こども冒険塾~

日 程

8/4 (火)		9:00	12:30	13:00	13:30	17:30	19:00	20:30	22:00
		ボランティアとの 打合せ	受付	開会式	高岡 歴史 巡りハイク	夕食	招待状作り など	入浴	消灯
8/5 (水)	6:30	8:30	9:30		14:30	16:30	20:30	21:00	
	起 床	朝 食	整理 整頓	秘密の冒険 山寺へGo! 出発~給水~到着~昼食~清掃	クラフト活動 竹はし作り	野外料理活動 BBQ など	諸連絡	消灯	
8/6 (木)	6:00	6:45	8:30	9:30	16:00	17:30	19:30	22:00	
	起 床	野 外 料 理 活 動 焼きおにぎり など	清 掃 後 始 末	秘密の冒険 目指せ 松太枝浜! オリエンテーリング~昼食~海水浴	帰館 入浴	夕 食	ス タ ー ウ ォ ッ チ ン グ	消 灯	
8/7 (金)	6:00	7:00	10:00	12:00	13:00	14:30	17:00	19:00	20:30
	起 床	稲場山牧場見 朝食	学 習 の 時 間 4 コ ー ス 音楽・図工・感想文・ドリル	昼 食	洗 濯	クラフト活動 竹はし作り	夕 食	キャ ン ド ル サ ー ビ ス	入 浴 会 議 消 灯
8/8 (土)	6:30	9:00	10:00	12:00	13:00	17:00	19:00	20:30	
	起 床	朝 食	洗 濯	学 習 の 時 間 4 コ ー ス 音楽・図工・感想文・ドリル	昼 食	青 空 ラ ン チ の 準 備 ランチョンマット作り など	夕 食	振 返 り	入 浴 会 議 消 灯
8/9 (日)	6:30	8:30	9:00	12:00	14:00	15:00			
	起 床	朝 食	整 理 整 頓	青 空 ラ ン チ の 準 備 お好み焼き作り	青 空 ラ ン チ	思 い 出 発 表 会	閉 会 式		

事業の様子

開町400年 高岡歴史巡りハイク

出された指令に従って、高岡の歴史を感じられる施設や名所をハイクした。各チェックポイントでは、出された問題や指令を班の仲間と協力してクリアしていき、各班の協力性や団結力を高められるようにした。この活動では、高岡市内を巡り、開町当時の様子を思い起こしたり、現在の街の様子を見学したりすることができ、高岡について詳しくなることができた。



高岡大仏にて



御旅屋通りにて



高岡市博物館にて



高岡古城公園にて



高峰公園にて



金屋町にて

「森の青空ランチ」の招待状作り

この事業の最終日には、家族を招いての食事会「森の青空ランチ」を行う。それに合わせて、この時間では家族宛てに招待状を作った。招待状には、その日に行った「高岡歴史巡りハイク」の写真も添えた。

その後、明日行う「秘密の冒険」についての説明などを行った。



招待状作りの様子



秘密の冒険 ~ 山寺へ Go! ~

この秘密の冒険では、高岡の開町時代の生活を疑似体験することが目的となる。そのため、人里を離れ、不自由な生活を体験できる場所として、二上山の山中にある弘源寺(通称:山寺)を活動の拠点とした。まずは、その場所まで移動することが秘密の冒険の始まりとなる。約2時間ほどかけて山を登った。途中にある二上山キャンプ場では、生活用の水を給水した。これは、水を確保することの大変さと、ありがたさを実感させたいためである。



山寺へ出発!



生活用の水を給水します



山寺まであと少し



山寺に到着しました!

山寺での開町時代の生活開始

水道、エアコン、ガス、テレビなど、便利な物がない山寺の生活を通して、開町時代の人々の苦勞を体験するとともに、現在の恵まれた生活に感謝する気持ちを育てるために山寺での1泊2日の生活を行った。

- ・ みんなで力を合わせての清掃活動
- ・ 自然にある材料を生かして、竹はし作り
- ・ 本堂前の広場で夕食作り
- ・ 夜はシーツとバスタオルで就寝
- ・ 朝食は、焼きおにぎり



まずは、掃き掃除から



みんなで水ぶきだ！



自分専用の箸を作ります



いよいよ夕食作り



野外炊飯は、もっお手の物です！



おいしくいただきました！



みんなで雑魚寝します

秘密の冒険 ～目指せ 松太枝浜！～

この日は、二上山を下りながら、海までオリエンテーリングを行った。約2時間30分のコースを設定し、各班でゴールへ向かった。途中のチェックポイントでは、ゲームなどの課題を設けた。子ども達は、暑さと疲労感を感じながらも、一生懸命にゴールを目指した。ゴール後は、食事を取って、海水浴を行った。海水浴では、体全体を使って思いっきり楽しんでいただいていたようであった。



今度は海を目指します！



パケッツボールをしました



やっと海にたどり着きました



海は気持ちいい！

スターウォッチング

富山県天文学会の方々を講師としてお招きし行った。天体望遠鏡を持参していただき、木星、月、こと座のベガ、わし座のアルタイルなどを見せてくださる予定だったが、天候に恵まれず、星の観察は十分に行えなかった。しかし、館内では、すばらしい天体の映像を見せていただいた。



館内での星空学習



天体望遠鏡も覗きました

稲場山牧場見学

この日は、気分転換も兼ねて、稲場山牧場へ出かけた。ここでは、実際に大きな牛を見たり、ウサギやモルモットなどの小動物ともふれあったりなどして、気分をリフレッシュさせた。



モルモットをだっこ



ヤギともふれあいました

学習の時間 ~ 音楽コース、図画工作コース、読書感想文コース、ドリルコース ~

この事業では、学習の時間を設定している。5泊6日という期間の中で、勉強から完全に離れることを防ぐためである。この時間では、OB 教員や教職員研修として参加いただいている現職教員にご協力をいただき実施した。参加者にとっては、夏休みの宿題をすることができる良い機会となったようだ。また、身体を使っただけの活動ばかりが続いていたため、その休養もでき、身体を落ち着かせることもできた。



音楽コース



図画工作コース



読書感想文コース



ドリルコース



洗濯

この事業では、身の回りのことができるようになることも一つの目的となっている。この洗濯の活動では、自分の着たものを自分自身で洗うことによって、普段の生活の便利さを感じ、また、生活の仕事の一部を体験することになる。



洗濯板とたらいで洗います



自分で干します

キャンドルサービス

ボランティアの皆さんに企画・運営をお願いし、実施した。参加者にとってもボランティアにとっても、楽しいひと時を過ごす良い機会となった。



大燭台に灯します



みんなでマイムマイム

「森の青空ランチ」の準備 ~ 竹はし作り・ランチョンマット作り ~

「森の青空ランチ」では、家族を招いての会食となるため、家族の分の竹はしも作った。参加者の中には、家族を4人招くという子もあり、頑張って制作していた。また、この5日間の思い出を伝える手段として、ランチョンマットも作った。A4用紙にこれまでの思い出を描き、ラミネートするものである。



竹はしも頑張って作ります



ランチョンマット作り



作成したランチョンマット



明日に備えて掃き掃除

森の青空ランチ

本年は、お好み焼き作りに挑戦した。この食事会で準備する食事数は、160人分ほどにもなる。各班内で役割を決め、食材を準備する者、かまどで火を担当する者に分かれ、準備に取り掛かった。最終日もなると、班員同士の協力関係も築け、また野外炊飯に関しても馴れた手つきで、順調に準備を進めることができた。実際の会食では、参加者とその家族、そして各班を担当していたボランティアとで、この6日間を振り返りながら時間を過ごすことができた。



まずは、食材の準備



火起こしも手馴れたもの！



お好み焼きができていきます



森の青空ランチの様子

思い出発表会・閉会式

昨夜書いた感想文をもとに、6日間の思い出を一人ひとりが発表した。また、迎えに来られた家族に感謝の手紙も渡した。そして、一人ひとりに修了証を手渡し、本事業を終えた。



6日間の思い出を発表しました



館長から修了証を手渡します



最後に、お世話になった学生ボランティアさんの一人ひとりから、一言ずつお話をしてもらいました

事業を振り返って

高岡歴史巡りハイク、秘密の冒険、スターウォッチング、牧場見学、森の青空ランチなど、多種多様な活動を行う中で、この事業の目的を達成できたと思う。異年齢での集団生活の中で様々な活動を行うことによって、自分に自信を持ち、進んで行動する子どもが増えたこと、子ども達同士のつながりが強まり、よりよい人間関係作りができたと思われる。

今後の課題としては、安全管理の面でも重点を置きながら準備を進めていきたい。今回は、十分な配慮が足りていなかったように思われる。予め利用施設や活動場所の事前調査を行っていたが、それでも子ども達の目線に立っていなかったのではないだろうか。次回からはもっと子どもの目線に立って危険な箇所などをしっかりと確認し、安全管理を徹底していきたい。

担当：栗山 満



2009.8.5 北日本新聞(朝刊)



2009.8.5 富山新聞(朝刊)

事業名 主催事業
高岡市発明協会関連事業

夏休み 自由工作教室



趣 旨 科学的知識や工具の使い方などを学びながら、オリジナルの発明品を作り上げ、科学や発明への興味・関心を高める。

期 日 平成 21 年 8 月 17 日(月)

参加者 28 名

講 師 刀根 久 氏 工作活動の指導を依頼

日 程

8/17	9:00	9:30	9:45	10:15	11:20
(月)	受付	開講式	身近な発明調べ	発明にチャレンジ しおり・カレンダー作り	閉講式

事業の様子

身近な発明調べ・発明にチャレンジ

刀根先生より、具体的な発明品を紹介してもらいながら説明を受け、自分達で身近にある発明品をいろいろと探す活動を行った。その後、身近にあるものを上手く使って、発明品を作り上げた。作り終えた後に、全員で発表会を行い、それぞれの発明品を紹介しあった。



何を作るのかな？



僕の発明品は「しおり」

事業を振り返って

発明が身近なものであることや、しおりやカレンダーなどの工作活動を通して、自分達でも発明することができるということが伝わったように思う。

今回は、小学 3～6 年生が対象だったため、低学年児童への参加の機会を提供することができなかった。なかなか、1～2 年生に対してはこのような事業に参加する機会が少ないと思われるので、次年度からは、もっと幅広い児童に参加できるような事業を増やしていきたい。

事業の様子

レクリエーション ～スポーツチャンバラ～

富山県スポーツチャンバラ協会の協会員を講師として招き、実施した。二上山に伝わる「悪王寺伝説」を元にストーリーを組み立て、参加者に目的意識を持たせながら取り組ませた。

準備体操や基本的な動きを練習した後、「悪王子軍」と「栗長軍」に分かれて、合戦を行った。

本格的な活動の始まりということで、最初は多少硬い顔をした参加者もいたようだが、活動が進むにつれて参加者の笑顔が見られるようになってきた。



スポチャンの練習



悪王子に負けるな！

ベッドメイキング

初めての宿泊体験者が多く、また本事業の目的の一つでもある「次年度の宿泊学習の準備」を考え、入念な説明を行い、自分自身でできるように配慮した。



実際の布団を使って説明



頑張ってベッドメイク

キャンドルサービス

活動プログラムの計画段階では自由時間にしていたが、何か活動を入れ込むことができないか考えた末、実施した。ただ、本格的なものではなく、簡略なものにし、参加者が「キャンドルサービスとはどのようなものか」を感じられる程度のものにした。



分火の儀式



レクリエーションの様子

野外料理活動 ～ちらし寿司作り～

初めて野外料理を経験する参加者も多いことから、なるべく簡単にできるメニューにした。ただ、野外料理で行う様々な仕事を網羅し、本事業の目的に添うことができるように心がけた。

説明や実際の活動中も、指導員やボランティアで目を配りながら、なるべく参加者自身で行わせ、達成感や充実感を味わうことができるように進めていった。



野外料理の説明中



食材を切ります



かまどの仕事も責任重大



みんなで協力しました



おいしそうにできました

Part.2

日 程

9/26		13:15	14:00	15:00	16:45	17:30	19:00	20:00	21:30
(土)		受付	開会式	レクリエーション まなび交流館探険	ベッド メイキング	夕食	キャンドル サービス	入浴	消灯

9/27	6:30	8:15	9:30	13:00	
(日)	起 床	朝 つどい 食 整理 整頓	野外料理活動 ちらし寿司作り	閉会式	

事業の様子 Part.1 と重複するものは省略

レクリエーション ~まなび交流館探険~

次年度に当館を使って宿泊学習をする予定の参加者も多いことから、この施設をより知ってもらえるような活動にした。ただ、ある程度ゲーム性を持たせなければ参加者も飽きてしまうことが考えられるので、楽しみながらできるよう配慮した。

今回は、男子の応募が少なく、また班で男子が1人という班もあり、良好にコミュニケーションが取れるのか心配していたが、各班に入ってくれたボランティアの支援もあり、スムーズに班活動を行えたようであった。



外にもチェックポイント



館内は迷路のよう

夕食

食事の準備の仕方などの事前指導を行ってから、班ごとに食堂に入らせた。参加者の中から代表して合掌する人を選び、少しでも子ども達で行っているという意識を持たせた。



準備の仕方を説明中



おいしく食べてます

朝のつどい

朝のつどいでは、旗(国旗、市旗、館旗)の掲揚を行う。当館の掲揚塔は、ポールにロープをつけてある単純な形のものです、どの場所でも生かすことができ、今後の参考にもなると思い取り入れている。



しっかりと揚げられました

部屋の後片付け、清掃

ベッドメイキングと同様に、実際の布団を使ってたたみ方を説明したり、清掃やまとめた荷物の置き場所などを指示したりした。



たたみ方の説明中



事業を振り返って

例年人気のこの事業は、参加者や保護者から参加の機会拡充の意見を多くいただいていた。そのため、本年は募集の段階から2回行うことを知らせ、なるべく多くの子ども達に参加してもらえるよう配慮した。

実際の事業では、宿泊学習に備えるためのいろいろな活動をしていく中で、参加者同士の友情が芽生え、どの子どもも満足した2日間を過ごせていたようである。また、メディカルスタッフの長谷先生をはじめ、たくさんのボランティアの協力もあって、充実した事業を行うことができた。

担当：三輪 祥久



2009.9.23 北陸中日新聞(朝刊)



2009.9.23 富山新聞(朝刊)



2009.9.23 北日本新聞(朝刊)

事業名 主催事業

親子野外料理教室



趣 旨 みんなで役割分担をし、野外料理に挑戦する。また、調理道具などを自ら制作し、それぞれのアイデアを生かしながら参加者同士の交流を深める。

期 日 平成 21 年 10 月 3 日(土) ~ 4 日(日)1 泊 2 日

参加者 19 名 ボランティア 6 名

講 師 長守 崇 氏(ボーイスカウト高岡地区コミッショナー 兼 高岡第 9 団ボーイ隊長)
 松下 英子 氏(ボーイスカウト高岡地区副コミッショナー 兼 高岡第 26 団ボーイ隊長)
 大坪 喜世美 氏(ボーイスカウト高岡第 8 団 ベンチャー隊長)

以上、3 名 クラフト活動及び野外料理活動の指導を依頼

日 程

10/3		13:00	13:30	14:30	16:30	19:30	20:30	22:00
(土)		受付	開会式	クラフト活動 竹はし作り など	野外料理活動 豚丼 など	キャンプ ファイヤー	入浴	消灯

10/4	6:30	8:30	9:30	13:30	
(日)	起床	朝食 整理 整頓	野外料理活動 うどん作り	閉会式	

事業の様子

クラフト活動 ~竹はしとはし袋作り~

このクラフト活動では、自分達で調理用具を作
 ることを目的としており、調理にも使え、また食
 事中、更には家庭に帰ってからでも使えるものとい
 うことで、「竹はし」とそのはしを入れる「はし袋」
 を作ることにした。



各班に分かれて作ります



集中して作業しています

竹はし作りは、小刀を使用したか、怪我も無くスムーズに進めることができた。また、はし袋作り
 についても、講師が各班を巡回したりボランティアが小さい子ども達の手助けをしたりしながら行っ
 たため、全ての参加者が時間内に作製を終えることができた。

事業名 主催事業

高岡開町 400 年記念事業

まなびっこ

フェスティバル



趣 旨 子ども達や家族をはじめ、多くの方々に施設を広く開放し、各種体験ブースで当館の多様な活動を体験してもらったり、青少年団体の活動について理解を深めてもらったりする。

事業主体 まなびっこフェスティバル実行委員会

高岡市二上まなび交流館・高岡市児童クラブ連合会

日本ボーイスカウト高岡地区協議会・(社)ガールスカウト高岡地区協議会

期 日 平成 21 年 10 月 17 日(土)

来 場 者 約 400 名

日 程

	10:00	15:00
10/17 (土)	各種ブースでの体験活動 メロンパン作り・プラネタリウム・まなびっこクラブの発表 様々なクラフト活動(B・S 高岡地区協議会、G・S 高岡地区協議会、市児童クラブ連合会) ネイチャークラフト(国立立山青少年自然の家)・環境教室(市地域安全課)・鉄道模型の運行実演(伏木鉄道模型クラブ) など	

事業の様子

来場者の送迎・総合受付

当日の来場者の駐車場を確保するため、施設周辺の公共施設の駐車場をお借りし、臨時の駐車場を設置した。なお、施設と臨時駐車場の間にはシャトルバスを運行し、来場者の送迎への対応をとった。

また、当館正面玄関前に総合受付を設け、来場された方に各種体験ブースの説明や予約、フードコートのお券販売などを行った。



シャトルバスで到着



総合受付の様子



開町 400 年記念グッズの販売



利長くんもお出迎え

メロンパン作り(まなび交流館)

当館で人気の「メロンパン作り」を体験してもらった。当日は、約 200 個のメロンパンを午前の部と午後の部に分けて行った。



生地をこねます



一斗缶オーブンで焼きます



焼きあがりました！



利長くんも気になります

プラネタリウム(まなび交流館)

当館にある簡易型プラネタリウムの上映会を行った。秋の星空を見ながら、星空学習をしてもらった。なお、午後から 4 回の上映を行い、延べ 60 人を超える方に見てもらった。



簡易型プラネタリウム



ドームの中の様子

まなびっこクラブの発表(まなび交流館) ~ 箏・茶道・ペン習字 ~

当館にて実施している定例クラブ「まなびっこクラブ」の活動発表を行った。また、高岡市で実施している「児童アイデア工作・未来の科学の夢絵画展」の優秀作品も、併せて展示した。



箏では演奏会



茶道ではお手前を披露



ペン習字の展示



作品展の優秀作品

クラフト活動(日本ボーイスカウト高岡地区協議会) ~ けん玉・たこ・紙プロペラ など ~

身近にあるものを使って、簡単に作れるクラフトを行った。体験者は、できあがったもので遊びながら楽しんでいた。



クラフト活動(ガールスカウト高岡地区協議会) ~ ミニ傘・つまんこ など ~

折り紙などを使って、手軽にできるクラフト活動を行った。また、つまんこ遊びも行い、昔ながらの遊びを体験した。



クラフト活動(高岡市児童クラブ連合会) ~色紙遊び~

色紙を使って、指輪や時計などの工作を行った。身近で手軽にでき、低学年の体験者が多かったようである。



ネイチャークラフト(国立立山青少年自然の家) ~マイフォーク・スプーン など~

県内の青少年教育施設である国立立山青少年自然の家の職員の方々にご協力いただき、ネイチャークラフトのブースを開いていただいた。自然の物を上手く使った様々なクラフト活動をしていただいた。



環境教室(高岡市地域安全課) ~環境〇×クイズ など~

環境に目を向けてもらおうと、市地域安全課より職員を派遣していただき、環境教室を行った。〇×クイズや環境に関するビデオを見て、環境への興味を深めてもらった。



鉄道模型の運行実演(伏木鉄道模型クラブ)

当館を活動の場として利用していただいている伏木鉄道模型クラブさんに、鉄道模型の運行実演を行っていただいた。



フードコート

当館で給食業務を委託している業者をお願いをして、実施した。屋外ではフランクフルトやおでんなどの模擬店を出していただき、館内の食堂ではカレーライスの販売をしてもらった。



事業を振り返って

当館に事務局を置いている高岡市児童クラブ連合会、日本ボーイスカウト高岡地区協議会、(社)ガールスカウト高岡地区協議会との共催事業であったので、青少年団体の活動について理解を深めてもらうことができたとともに、当館の多様な活動を体験してもらうことができた。来館者には、当館のことをアピールすることができ、よい広報事業となったように思われる。

今後は、より多くの方に来場してもらえるよう、特設駐車場からの輸送方法を検討する必要がある。また、各ブースを担当する各種団体との十分な事前打合せをしっかりと行い、スムーズな運営ができるようにしなければならない。

担当：栗山 満

児童が野外でメロンパン作り
高岡・ニ上でフェス
高岡市ニ上まなび交流館の「高岡開町400年記念まなびっこフェスティバル」は17日、

同館で行われ、市内の児童約400人が野外でのメロンパン作りや工作、琴の発表などを楽しんだ。
同館の活動について知ってもらおうと、高岡市児童クラブ連合

会、ボーイスカウト高岡地区協議会、ガールスカウト高岡地区協議会などが初めて行った。児童は生地をこね、一斗缶で作ったかまどを使いメロンパンを焼き上げた。出来たてのパンをほお張った児童は「柔らかい」などと歓声を上げた。

出来たてのメロンパンをほお張る児童。高岡市ニ上まなび交流館



出来たてのメロンパンをほお張る児童。高岡市ニ上まなび交流館

高岡市ニ上まなび交流館の「高岡開町400年記念まなびっこフェスティバル」は17日、

2009.10.18 北日本新聞(朝刊)

事業名 主催事業

秋の二上山を楽しもう



趣 旨 紅葉深まる秋の二上山を散策し、自然に親しむとともに、野外料理やクラフト活動などを通じて、参加者同士の交流を深める。

期 日 平成21年11月7日(土)～8日(日) 1泊2日

参加者 17名

講 師 山下 眞佐子 氏(富山県ナチュラリスト協会) 自然観察活動の指導を依頼
渡辺 雅志 氏(富山大学芸術文化学部 講師) クラフト活動の指導を依頼

日 程

11/7		12:30	13:00	13:30	16:30	19:30	20:00	22:00
(土)		受付	開会式	自然観察活動 二上山の散策	野外料理活動 鍋料理	花火	入浴	消灯

11/8	6:30	8:30	9:30	11:45	
(日)	起床 朝食	整理 整頓	クラフト活動 色鉛筆作り	閉会式	

事業の様子

自然観察活動 ～二上山の散策：ネイチャーウォッチング～

本事業では、「秋の二上山」に親しむことを目的としており、紅葉が始まった二上山を講師の先生の解説のもと、散策した。毎回講師を務めていただいている山下先生との打合せの上、より充実した自然観察となるよう、クイズやゲームなどを取り入れ、参加者が積極的に活動に取り組むことができるようにした。



これは何の葉だったかな？



笹舟も作りました

野外料理活動 ~寒さに負けるな！カレー・キムチ・豚バラ争奪鍋バトル~

今回の野外料理では、食材の選択から調理方法に至るまで、参加者自身で行うことにした。食材の選択については、ゲームを取り入れながら、各班で食材選びを行った。その後の調理では、思い思いの鍋に仕上げていたようである。



まずは、じゃんけんゲーム



リレーで、ダッシュ！



鍋の完成まであと少し



とってもおいしいよ！

クラフト活動 ~自然を使って色えんぴつ作り~

秋の自然に親しむということで、秋の自然を上手く使ったクラフト活動はできないかということで、富山大学芸術文化学部講師の渡辺先生に助言をいただき、この活動を行うことになった。自然の命を感じさせたいとの渡辺先生の意図から、好きな枝を1本だけ切り取り、それを色えんぴつにすることとなった。参加者は、枝探しに時間をかけ、熱心に自分好みの枝を探していた。中には、枝を切る際に苦労している参加者もあり、「枝もそうやって必死に生きているんだよ。人間も簡単に骨が折れないのと一緒にだね」と、先生の的確なアドバイスもあり、自然の命を感じることに繋がったように思える。



この枝がいい！



芯を入れる穴は慎重に



集中して芯を入れます



Only One の色えんぴつ

事業を振り返って

ご多忙にも関わらず、講師の先生方に事前打合せの時間を作っていただいたため、スムーズに活動を進めることができた。昨年は天候があまり良くなかったが、今回は天候・気温ともに恵まれ、屋外でも十分に活動することができた。自然の中を歩き、野菜などをふんだんに使った鍋を食べ、お風呂には笹舟を浮かべ、最後には自然のものを上手く活用したクラフトをした中で、健康な心と身体を育んでもらえたのではないかと思います。

担当：薬師 孝博

高岡市二上まなび交流館 (徳田光太郎館長) の「秋の二上山を愛しよう」が7日、同館周辺で始まり、小学生ら17人が散策や野外炊飯などを通して自然に親しんだ。交流しながら自然に触れてもらおうと1泊2日の日程で

児童は県自然解説員の山下真佐子(まなこ)さんの説明を受けながら、二上山周辺の遊歩道を散策、笹舟作りもあった。野外炊飯でカレー鍋などを調理した。8日は枝を使った色えんぴつ作りを体験する。

山下さん(左)から説明を受ける児童

企画 開会式で 徳田館長が「楽しい思い出をつくってくださーい」とあいさつした。

秋の二上山散策 児童ら自然に親しむ

2009.11.8 北日本新聞(朝刊)

事業名 企画事業

クリスマスのつどい



趣 旨 クリスマスケーキをみんなで作ったり、パーティーに参加したりしながら参加者同士の友情を深める。

期 日 平成 21 年 12 月 12 日(土) ~ 13 日(日) 1 泊 2 日

参加者 50 名 ボランティア 7 名

講 師 コーラスグループ「CAM」 8 名 パーティーでのコンサートを依頼

日 程

12/12		13:15	14:00	15:00	16:30	18:30	20:30	22:00
(土)		受付	開会式	料理活動 ケーキ作り	クラフト活動 キャンドル作り	クリスマス パーティー	入浴	消灯

12/13	6:30	8:30	9:00	11:00	
(日)	起 づ 朝 床 ど い 食	整理 整頓	クラフト活動 クリスマスリース作り	閉会式	

事業の様子

料理活動 ~クリスマスケーキ作り~

クリスマスといえば、クリスマスケーキということで、ケーキ作りに挑戦した。各班、思い思いのデコレーションを楽しんでいたようである。



生クリームも作ります



できあがり~!

クラフト活動 ~キャンドル作り~

クリスマスに関するクラフトということで、キャンドル作りを行った。ロウは不要になったロウソクを溶かし、それにクレヨンで着色を行うという、シンプルで簡単なものである。参加者は、キャンドルの色作りに熱心に取り組んでいたようである。



クリスマスパーティー

本事業のメインとなる活動である。予め厨房業者と打合せをし、パーティーにふさわしいオードブルを提供してもらった。また、コーラスグループの「CAM」さんをお招きし、パーティーに華を添えていただいた。その後、みんなで作ったクリスマスケーキを食べたり、ピンゴ大会をしたりして、楽しいひと時を過ごした。



パーティーの始まりだぁ



コーラスグループ「CAM」さん

クラフト活動 ~クリスマスリース作り~

今回は、もう一品クラフト体験をしてもらった。キャンドルとともに家に持ち帰っても使ってもらえるものということで「リース作り」を行った。参加者は、自然のものを生かし、思い思いのリースを作っていた。



一生懸命に作りました

事業を振り返って

この事業にそったクラフト活動やパーティーを楽しく行えたことで、参加者同士の交流を図ったり友情を深めたりすることができた。同じ班になった参加者と協力をして作ったケーキを食べ、身近な素材を使ってキャンドルやリースを作り、日ごろのクリスマスとは一味違うものを体験できたと思う。

担当：高木 公美

付けた。グループごとに協力しながら、思い思いのデコレーションを施した。クリスマスパーティーも開かれ、児童は一足早くクリスマス気分を味わった。参加者は同館に宿泊し、13日はクリスマスリースを作る。



■ケーキ作りに挑戦 高岡市二上まなび交流館の「クリスマスをつどい」が12日、同市二上の同館で始まり高岡市や氷見市の児童ら50人がケーキやキャンドル作りに挑戦した。写真。ケーキ作りでは、泡立てた生クリームをスポンジケーキに塗り、イチゴやキウイなどを飾り

2009.12.13 北日本新聞(朝刊)

事業名 主催事業

冬の二上山を楽しもう



趣 旨 雪上にある動物の足跡や冬鳥の様子、樹木の芽の観察を通して、冬の二上山を味わうとともに、餅つき体験を行いながら参加者同士の交流を深める。

期 日 平成 22 年 1 月 30 日(土)

参加者 49 名

講 師 山下 眞佐子 氏(富山県ナチュラリスト協会)
山下 佳子 氏(富山県ナチュラリスト協会) 自然観察活動の指導を依頼

日 程

1/30	9:00	9:30	9:45	13:00	15:30	16:00
(土)	受付	開会式	料理活動 もちつき体験	自然観察活動 二上山の散策	足湯	閉会式

事業の様子

料理活動 ~もちつき体験~

年が明け、正月はお餅を食べる機会も多くある時期と考え、普段、なかなか体験することができない「もちつき」を体験することにした。うすと杵を使い、一生懸命にもち米をつくことでお餅はできあがるのだが、そういったことを日常ではなかなか体験できないことから、そういった場を提供することで、お餅のでき方を知り、一つの学習につながるのではないかと思い行った。



よいしょ~!



おいしくいただきました

自然観察活動 ~二上山の散策：ネイチャーウォッチング~

冬の自然観察での見所といえば、新雪の上にはうっすらと残る動物の足跡である。しかし、当日は雪がかなり溶けてしまっていたため、その光景を見ることは難しかった。だが、事前に撮影しておいた映像を参加者に見てもらい、冬の自然を少しながらも感じてもらうことができた。また、当館には「かんじき」や「スノーシュー」があるので、それらを実際に履いて雪上を歩いてみる体験も行った。午前中の「もちつき体験」と同様、なかなか体験できないことに、参加者は戸惑いながらも楽しんでいた様子であった。



かんじきをはきました



スノーシューで歩いたよ



冬の二上山の上映



自然観察

事業を振り返って

参加者のほとんどがリピーターであったため、日ごろの職員の関わり方や企画力が功を奏しているのではないかと思います。今回は餅つきに挑戦したが、職員と参加者とで協力して行え、大変盛り上がった。自然観察についても、かんじきを履いてみたり、山下先生の詳しい説明を聞きながら行えたりと、とても充実したものとなった。このように、普段あまり体験できないことをしてもらえたことが、とても良かった。

担当：薬師 孝博



もちつきを楽しむ児童
＝高岡市二上まなび交流館

高岡市二上まなび交流館の「冬の二上山を楽しむ」は30日、同館を拠点に行われ、県内の3、4歳の児童ら約50人がもちつきなどを楽しんだ。もち米らッが用意され、1つずつをつき上げた。同館スタッフや同市消防隊下の児童クラブ役員の指導を受け、児童は一人ずつ順番にきねを振るった。つき上がったものは雑煮にしたほか、ゴマやきな粉、砂糖しょうゆ、焼きのり、大根おろしなどで味付けをして全員で味わった。また、二上山散策も行われ、自然解説員の山下真佐子さんと山下佳子さんが、木の見分け方や動物の足跡について説明しながら、二上山を巡った。同館に戻り、散策の疲れを足湯で癒やした。

2010.1.31 富山新聞(朝刊)

児童、もちつきで交流

高岡二上山の散策も楽しむ

もちつき元気いっぱい

高岡市二上まなび交流館（徳田光太郎館長）の「冬の二上山を楽しむ」が30日、同館や同館周辺で行われ、児童ら約50人が楽しいひとときを過ごした。

児童はもちつきに挑戦。「よいしょ」の大きな掛け声とともに、職員



らと一緒にテンボ良くきねを振り下ろした＝写真。

出来たてのもちは昼食として、きな粉やしょうゆを付けたり、児童が材料を切った雑煮に入れて味わった。

ハイキングでは、県自然解説員の山下真佐子さんと山下佳子さんと共に、二上山周辺を散策し、自然に親しんだ。

2010.1.31 北日本新聞(朝刊)

秋のつどい

日 程

11/21		13:15	14:00	15:00	17:00	18:00	19:00	21:00
(土)		受付	開会式	館内 オリエンテーリング	ベッド メイキング	夕食	入浴	消灯

11/22	6:30	8:30	9:30	12:00	13:30	
(日)	起 床	朝 食 整理 整頓	料理活動 メロンパン作り	昼食	閉会式	

事業の様子

開会式

開会式を始める前に、簡単なアイスブレイキング(レクリエーション)を行い、参加者の緊張をほぐすと同時に、主務者との交流を図った。

開会式では、館長・主催者の挨拶をいただき、職員・講師(メディカルスタッフ)・ボランティアの紹介を行った。

その後、本事業のめあてを確認しながら、オリエンテーションを行った。また、本事業は班ごとの活動や生活を重視するため、各班に班長を指名し、集合の仕方や報告の練習を行った。

「なかよし合宿」のめあて

- 1．自分のことは自分でしましょう！
- 2．次に使う人のことを考えましょう！
- 3．時間を守りましょう！（５分前行動）



アイスブレイキングの様子



徳田館長の挨拶



齋藤先生(主催者)の挨拶



長谷先生(講師)の挨拶

館内オリエンテーリング(館内 OL)

当初は、外で「ミニウォークラリー」を行う予定にしていたが、天候が良くなかったため、「館内オリエンテーリング」を行うことにした。この活動では、本事業の最初の活動ということもあり、各班内の友だち関係を構築するきっかけを作ることを目標に行った。

活動内容は、当館常設の「館内OL(初級)」のものに、いくつかのチェックポイント(CP)を設置し、課題(ゲーム)を取り入れながら、行った。

課題をクリアしながら、OLポストを見つけることは、参加者にとって多少負担が大きいと思われたが、その中でも、各班それぞれにゲームを楽しんでいたようであった。また、各CPでの課題では、班員同士で協力し合い、励まし合いながら行っていたようである。



今はどこなのかな



ストラックアウトに挑戦



バケツボールも行いました



弓矢はできるかな

ベッドメイキング

初めての宿泊体験者が多いということで、実際の布団を使って説明を行った。説明後、実際にベッドメイキングを行ったが、“友だちと助け合う”ということ掲げ、取り組ませた。そのため、部屋の仲間と一緒に協力をしながら行えていたようである。中には、スタッフの手を借りながら行っていた参加者もいたが、子ども達同士の絆、子ども達とスタッフとの絆を作ることにつながったように思われる。



活動の前後はうがい・手洗い



実際の布団を使って説明



協力してベッドメイキング



みんなができたよ！

夕食

食堂に入る前に、事前指導を行い、参加者が戸惑うことがないように、また、自分でしっかりと準備ができるように心がけた。厨房業者には、予めメニューを相談し、準備・食事など、参加者に合ったものにするようにした。また、食事の挨拶では、参加者から選んで言わせ、自分達で行っているということを意識させた。



事前説明の様子



自分で準備をします

健康観察・お手紙(Thanks Letter)記入

事前のアンケート(マイカード)記入に照らし合わせながら、健康観察を行った。また、明朝の予定を確認し、消灯後の過ごし方について説明を行った。

その後、時間ができたので、保護者宛てに“お手紙(Thanks Letter)”を記入させた。明日作る

“メロンパン”と一緒に、感謝の気持ちを伝えられるようにしたかったためである。



健康観察の様子



いつもありがとう

料理活動 ~メロンパン作り~

当館常設の野外料理メニューである「メロンパン」を作ることとした。比較的簡単にでき、また生地作りが粘土遊びのようにできることから、低学年の参加者にも大きな負担がないと思われたため、この活動を選んだ。

この活動では、メロンパンを1人につき2個作った。1個は自分への分、もう1個は家族への分である。昨夜、家族への“手紙(Thanks Letter)”を書く活動で、家族への感謝の気持ちを伝える動機付けを行っていたため、どの子も気持ちを込めて作っていたようである。



まぜるぞぉ



みんなでこねこね



模様もバッチリ



焼きあがったメロンパン

閉会式

参加者・保護者が揃った段階で、アンケート記入を行った。1年生の子もいるため、保護者と一緒に記入させるようにした。

閉会式では、まず、修了証を一人ひとりに手渡しした。ただ、堅苦しいものにはせず、具体的な活動や行動に対する“賞”を設け、この2日間を振り返ることができるようにした。

- | | |
|----------------|---------------|
| ・班で協力できたで賞 | ・みんなで力を合わせたで賞 |
| ・きれいにできたで賞 | ・班で助け合ったで賞 |
| ・規則正しい生活ができたで賞 | ・最後まで頑張ったで賞 |
| ・仲よくできたで賞 | |



アンケート記入の様子



よく頑張りましたね！

冬のつどい

日程

1/16 (土)		13:15	14:00	15:00	17:00	18:00	19:00	21:00
		受付	開会式	雪山ハイキング	ベッドメイキング	夕食	入浴	消灯
1/17 (日)	6:30	8:30	9:30	12:00	13:30			
	起床	朝食	料理活動 メロンパン作り	昼食	閉会式			

事業の様子 「秋のつどい」と重複するものは省略

雪山ハイキング・雪だるま作り

事前調査を綿密に行っていたのと、天候も申し分なかったため、雪山ハイキングを予定通り実施した。また、雪だるま作りの活動を取り入れ、班内での友達作りのきっかけを作ることを目標とした。

雪山ハイキングでは、どの班も順調にコースをたどり、無事にゴールすることができた。また、途中の CP でのゲームも楽しみながらこなし、満足をして戻ってきた様子であった。ハイキング中には、上級生が下級生の面倒を見たり、励ましたりと、良好な異年齢関係を構築するきっかけ作りができているようで、この活動を取り入れた意図が反映されていることを感じる事ができた。

雪だるま作りでは、「大きな雪だるまを作ってみよう」との働きかけがうまく伝わり、各班思い思いに大きな雪だるま作りに挑戦していた。中には、2体作っている班や、雪だまをいくつも重ねて作っている班、ハイキング中に拾ってきた枝や木の実を使って装飾をしている班など、各班それぞれに個性を發揮しながら制作に取り組んでいた。

普段は、なかなかこのような雪深い中で遊ぶことができない子ども達にとって、とても印象に残る活動になったようである。



ハイキングの様子



雪だるま作りの様子



雪だるまと記念撮影

入浴

入浴前に事前指導を行い、公共の場での入浴の仕方を身に付けられるようにした。

入浴中は、指導員やボランティアが浴室で指導を行った。また、入浴をしていない時間については、自由に過ごしたり歯磨きなどをしたりして、自分達で行動を考える時間とした。



事前指導の様子

消灯

参加者が小学1～3年生ということで、21:00を消灯時間とした。完全に静かになったのは、21:30過ぎくらいであったが、その後は、静かに休んでいた。

親元を離れ、初めて一人宿泊をする参加者も多いことが予想されたため、事前に一人で寝る練習をしてくるよう、保護者に連絡をしておいた。その効果もあってか、参加者はそれぞれに就寝していたようである。また、上級生が下級生と一緒に寝てあげている参加者もあり、上級生のお兄さん・お姉さん意識が芽生えているように感じられた。

このほか、事前のアンケートにより、夜尿症の子への対応もすることができた。



おやすみなさい

朝のつどい

7:10より、体育館で行った。

旗の掲揚・ラジオ体操を行い、その後、諸連絡を行った。



旗の掲揚



みんなでラジオ体操

部屋の片付け

荷物整理、ベッドの復元、清掃を行った。ベッドの復元に関しては、実際の布団を使って説明を行った。ベッドメイキングと同様に、時間はかかったものの、自分の力で最後まで行わせた。



実際の布団を使って説明



きれいにたたみます

事業を振り返って

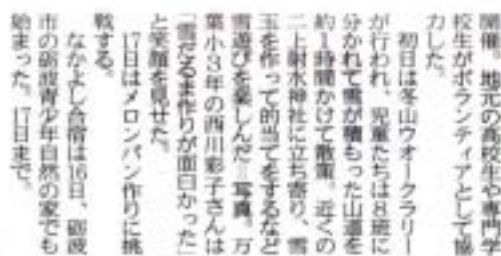
参加対象が小学1～3年生ということで、時間的にも体力的にも、また気持ちの面でも負担がかからないよう考慮し、「ハイキング」と「メロンパン作り」の2つの活動を主軸としてプログラムを組んでいる。また、これらの他にも、生活上のいろいろな仕事を体験することにより、自主性を身に付けるとともに、それらの体験を自分自信で行うことにより、助け合うことの重要性や、望ましい上下関係を認識することができるのではないかと考えている。

平成20年度より実施した事業であるが、昨年度の好評ぶりが今年度もあった。今後もこのような社会のニーズに応えること、また参加を希望する子ども達や保護者のためにも、今後も継続していきたい。

担当：三輪 祥久



2010.1.17
富山新聞(朝刊)



2010.1.17 北日本新聞(朝刊)

事業名 主催事業

ものづくり体験クラブ



趣 旨 小学5年生から始まる「ものづくり・デザイン科」に向けて、高岡市の伝統工芸に親しみ、その技術を習得するとともに、宿泊を伴う学習を通して参加者同士の交流を深める。

期 日 平成22年2月13日(土)～14日(日) 1泊2日

参加者 31名 ボランティア 5名

講 師 折橋 治樹 氏(螺鈿工房「おりはし」) 折橋 理恵子 氏(螺鈿工房「おりはし」)
上野 和成 氏(漆工上野工房)

日 程

2/13	9:00	9:30	10:00	12:00	12:45	14:30	17:30	19:00	20:30	22:00
(土)	受付	開会式	漆器体験 貝切り	昼食	漆器体験 貝はり	見学ツアー 地場産センター 高岡市美術館	夕食	漆器体験 上塗り	入浴	消灯

2/14	6:30	8:30	9:00	12:00	13:30	14:00	
(日)	起床	朝食 整理 整頓	漆器体験 貝むき・みがき	昼食	作品 展示会	閉会式	

事業の様子

漆器体験(青貝塗)～図案の確認、貝きり、貝はり～

まず、子どもたちが描いてきた図案の確認をし、貝に図案を写して彩色の作業を行った。参加者は、色の作り方や塗り方のアドバイスを受けながら、真剣な表情で取り組んでいた。

貝切りの作業では、まち針で貝を切るため、慎重な作業が要求された。講師の方の適切な言葉かけで、子どもたちは安全かつ丁寧に貝切りを行った。

貝はりでは、にかわを使って貝を接着する作業(貝はり)を行った。ボランティアも子どもたちからの問いかけに優しく答え、子どもたちの作業能率も上がったように思われた。



集中して貝を切ります



切り取った貝を貼り付けます

見学ツアー ～高岡地域地場産業センター、高岡市美術館～

地場産センターでは、高岡の伝統工芸の学習を行った。施設の方より自分たちが取り組んでいる青貝塗の工程についての説明を聞いたり、DVDを見たりした。



地場産での学習



こんな作れるのかなぁ

また美術館では、市内の小学5、6年生と中学1年生が取り組んでいる「ものづくり・デザイン科」

の作品展が行われており、子どもたちの作品作りの参考になればと思い、見学を行った。青貝塗だけでなく、その他にも様々な種類の伝統工芸があることを知ったり、作品の美しいでき栄えに感心したりする様子うかがえた。

漆器体験(青貝塗) ～上塗り～

まず、講師の方の指導のもと、にかわを落とす作業を行った。余分にかわを落として、きれいに上塗りをするために必要な作業である。

次の上塗り作業では、はけの扱い方、塗り方を丁寧に指導していただき、子どもたちも心を落ち着けて上塗りに取り組んでいたようだ。



こうやって塗るんだよ

漆器体験(青貝塗) ～貝むき、みがき～

平刀を使って、貝の上に残っている塗料を削り落とす貝むきの作業を行った。その後、みがき作業を行った。子どもたちは、最後の仕上げの作業ということでより丁寧にミニパネルの表面を磨き上げた。



上手にできてるかな

作品展示会

保護者を交えて作品の鑑賞を行った。その後、一人ずつ作品を紹介し、作品名や頑張ったところ、工夫したところなどを発表した。また、発表中は発表者の作品をスクリーンに映し出し、みんなによく見えるよう工夫した。



きれいにできたね！



一人一人、発表しました

事業を振り返って

小学4年生の子ども達にとっては多少難しい作業もあったが、どの子も満足のいく作品に仕上がっていた。これも、講師の方の適切な指導とボランティアのサポートがあったからだと思う。また、施設見学を行うことによって、高岡の伝統工芸について感心を高めることができた。

今回は、1泊2日の日程で青貝塗の作品を制作するため、作業時間が多くなり、落ち着いて行うことが難しかった。制作物の決定には、もう少し配慮すべきだったように思う。

担当：栗山 満

事業名 主催事業

ひな人形作り教室



趣 旨 参加者同士で教え合ったり協力し合ったりしながら、自分達のイメージするひな人形を作る。

期 日 平成 22 年 2 月 27 日(土)

参加者 12 名

講 師 高井 美恵子 氏
川端 春子 氏 ひな人形作りの指導を依頼

日 程

2/27	9:30	10:00	10:15	12:00	13:00	14:00
(土)	受付	開会式	工作活動 ひな人形作り	昼食	工作活動 ひな人形作り	閉会式

事業の様子

工作活動 ~ひな人形作り~

講師の先生方と相談の上、紙粘土を使って作るものとした。また、今回の参加者の多くが親子であったため、親子で 1 組のひな人形を作ることにした。実際の活動では、親子で仲よく協力をして作っている様子がうかがえた。



親子で頑張ってます



できあがりでした！

事業を振り返って

親子で一緒に作品を作れたことで、親子の交流が深まり、より満足する作品を仕上げることができたように思う。

今回は、募集定員に対して参加者が少なかったため、募集方法を考慮しなくてはならない。小学校の全学年ではなくて、ある程度ターゲットを絞ってみるのも一つの手ではないかと考える。

担当：助野 寛子

事業名 定例クラブ事業

まなびっこクラブ

趣 旨 文化・スポーツなどの体験活動を通して、心身を鍛えるとともに、クラブ員同士の友情関係や信頼関係を深める。

期 間 平成 21 年 4 月 ~ 平成 22 年 3 月

開講クラブ

通年クラブ(4月～3月) 茶道、箏、ペン習字

後期クラブ(10月～3月) 科学工作、パソコン、卓球

実施にいたる背景

平成 20 年度の「高岡市児童文化センター」(以下、児文セ)の廃止に伴い、当館にその機能が移管された。児文セでは、児童の学習の場の提供として、様々な教室を開講しており、その中でも継続的に実施していた「茶道」「箏」「ペン習字」「科学工作」「図画工作」「卓球」の各教室を、当館でも実施することになった。ところが、当館の利用団体の予約状況と各クラブの開講予定日との兼ね合いから、市内にある高岡市成美公民館をお借りし実施することになった。その関係上、通年クラブとして「茶道」「箏」「ペン習字」、後期クラブとして「科学工作」「卓球」を開講した。

本事業は、定例クラブ事業として、各教室の総称を「まなびっこクラブ」と改名し、その中に各クラブを設ける形をとった。また、児文セで実施されていた教室に加え「パソコン」教室を開講し、年間およそ 15 回の教室を設け、約 100 名のクラブ員で、新たにスタートを切ったものである。



通年クラブの開講式



後期クラブの開講式



通年クラブ 期間：平成 21 年 4 月 18 日(土) ~平成 22 年 3 月 6 日(土)

会場：高岡市成美公民館

各クラブの様子

茶道教室 クラブ員 7 名

講 師 須賀 幸子 氏(茶名：須賀 宗幸)

須賀 伸子 氏(茶名：須賀 宗伸)

対象が小学校の全学年であり、低学年の頃から継続して参加しているクラブ員も多いクラブである。挨拶の仕方や席入り、割り稽古やお点前などを行った。



クラブの様子



まなびっこフェスティバル



最後のおさらい会では、お点前を披露しました



箏教室 クラブ員 4 名

講 師 唐木 とみ 氏(芸名：長南 とみ)

このクラブも小学校の全学年が対象であり、低学年の頃から継続して参加してくるクラブ員も多いクラブである。爪のはめ方から座り方、曲目の演奏練習などを行った。



クラブの様子



まなびっこフェスティバルやおさらい会では、曲目の演奏をしました



ペン習字教室 クラブ員 23 名

講 師 栃原 百合子 氏(高岡市立伏木小学校 教諭)

このクラブも、上記の 2 クラブと同様に、小学校全学年を対象とし、継続して参加しているクラブ員が多いクラブである。歌の本作りや小色紙の作品作り、クレパスを使っての書初め練習などを行った。



クラブの様子



先生にチェックしてもらいます



まなびっこフェスティバル

後期クラブ 期間：平成 21 年 10 月 25 日(土) ~平成 22 年 3 月 14 日(日)

会場：高岡市二上まなび交流館

各クラブの様子

科学工作教室 クラブ員 10 名

講 師 内澤 雅子 氏(教員OB)

杉高 浩 氏(高岡市立平米小学校 教頭)

渋谷 優子 氏(高岡市立定塚小学校 教諭)

伊勢田 佳英子 氏(高岡市立定塚小学校 教諭)

寒川井 良子 氏(高岡市立西条小学校 教諭)

中山 利男 氏(高岡市立福岡小学校 教諭)

矢田 憲和 氏(高岡市立牧野小学校 教諭)

渡辺 昭裕 氏(高岡市立牧野小学校 教諭)

澤村 力也 氏(高岡市立博労小学校 教諭)

以上、計 9 名

このクラブは、小学校 3～6 年生を対象としている。講師の先生方を高岡市内の小学校に勤務しておられる教員の方々に依頼している。

理科離れが進む子ども達に、理科の面白さを知ってもらうとともに、理科に興味をもってもらうことを目的としている。



パソコン教室 クラブ員 7 名

講 師 串田 幹夫 氏(日本ボーイスカウト高岡地区協議会 事務局長)

このクラブは、小学校 4～6 年生を対象としている。当館にあるパソコンルームを活用し、基本操作から、入力ゲーム、名詞作り、年賀状作りなどを行った。また、デジタルカメラを活用した学習も行った。



卓球教室 クラブ員 11名

講師 大野 祐三 氏(高岡市卓球連盟 事務局長)

大場 徳秋 氏(高岡市卓球連盟 副理事長)

堀 剛文 氏(高岡市卓球連盟 副理事長)

金森 均 氏(高岡市卓球連盟 理事) 以上、計4名

このクラブは、小学校4～6年生を対象としている。当館にある卓球場を活用し、市卓球協会の方々を講師としてお招きし実施している。基本練習はもちろん、試合形式での実践練習も行った。



事業を振り返って

各クラブ員は講師の先生方の指導のもと、充実したクラブ活動を行うことができたようである。通年クラブでは、最後におさらい会をし、保護者の方に1年の成果を見てもらった。また、後期クラブでも作品を完成させたり、仲間同士で腕前を見せ合ったりと、クラブ員同士でその成果を認め合った。どのクラブについても、楽しく活動することができた。

担当：助野 寛子

事業名 主催事業

まなびっこ宿泊交流会



趣 旨 まなびっこクラブ員が集い、クラフト活動や野外活動、おやつ作りなどを通して、クラブ員同士の友情を深めるとともに、1年間の活動を振り返る。

期 日 平成22年3月20日(土) ~ 21日(日) 1泊2日

参加者 14名 ボランティア 3名

講 師 富山市天文学会 3名
スターウォッチングの指導を依頼

日 程

3/20		13:15	14:00	15:00	17:30	19:00	20:30	22:00
(土)		受付	開会式	クラフト活動 ブーメラン作り など	夕食	スター ウォッチング	入浴	消灯

3/21	6:30	8:30	9:00	11:00	
(日)	起床	朝食 整理 整頓	料理活動 メロンパン作り	閉会式	

事業の様子

クラフト活動 ~ブーメラン・フリスビー作り~

工作キットを使っのブーメラン作り、牛乳パックを使っのフリスビー作りに挑戦した。どちらのクラフトも、道具を上手く活用したり、手先を器用に使ったりして活動に取り組んだ。工作後は、作ったものを使っみんなで遊び、交流を深めた。



頑張っ制作中



飛ばしてみました！

スターウォッチング

いつもお世話になっている富山県天文学会の皆さんに来ていただき、天体観察とその学習を行った。天体観測では、望遠鏡を覗かせていただいたり、星空を見ながら星の学習を行ったりした。また、観察中に人工衛星の通過を見ることができ、みんな感激をしていたようだ。その後、館内にて天体の様々な映像を見せていただき、星空への興味を深めた。



天体望遠鏡を覗きます



みんなで星空を眺めます

料理活動 ~メロンパン作り~

本事業は、3つの大きな活動を設けている。クラフト活動、野外活動、そしてこの料理活動である。今回は、当館で人気のメロンパン作りに挑戦した。参加者は、それぞれに役割を分担し、思い思いの模様を付け、活動を楽しんでいた。



頑張って作ります



おいしくいただきまます

閉会式・閉講式

本事業は、定例クラブ「まなびっこクラブ」の閉講式も兼ねている。各クラブ員には修了証を授与し、この1年間のクラブをやり遂げたことを賞した。その後、副館長の挨拶やボランティアのみなさんから一言ずつ言っていただき、本事業を終了した。



一年間よく頑張りました



ボランティアさんありがとう

事業を振り返って

クラフト活動、スターウォッチング、メロンパン作りなどの活動を通して交流するうちに、異なるクラブ員達と仲よく活動するようになった。特に、2日目のメロンパン作りでは、みんなで協力をして生地をこねたり、思い思いの模様を付けたりして、楽しく活動する姿が見られた。

今後は、この事業を定例クラブ事業「まなびっこクラブ」の最終日に行うよう計画をし、できるだけ多くのクラブ員が参しやすいようにする必要がある。また、各クラブによって参加人数に差があったので、各クラブ員への呼びかけについても工夫がいと考えている。

担当：栗山 満

平成 2 2 年度 実施事業一覧（予定）

事業名	実施期間	募集人数
国 春の二上山を楽しもう	5月8日(土) (日帰り)	40名
国 野外料理を楽しもう	5月29日(土) (日帰り)	40名
異年齢生活体験推進事業	7月18日(日) ~ 19日(月) (1泊2日)	48名
園 夏合宿 こども冒険塾	8月3日(火) ~ 8日(日) (5泊6日)	
国 冒険仲間のつどい	9月25日(土) ~ 26日(日) (1泊2日)	
高岡市発明協会関連事業	8月18日(水) (日帰り)	20名
国 夏休み 自由工作教室		
開町 400年記念	10月9日(土) (日帰り)	約400名
国 まなびっこフェスティバル		
国 Let's Stay 二上	10月2日(土) ~ 3日(日) (1泊2日)	各回
	10月30日(土) ~ 31日(日)	36名
国 秋の二上山を楽しもう	11月13日(土) (日帰り)	40名
国 クリスマスのつどい	12月11日(土) ~ 12日(日) (1泊2日)	50名
国 冬の二上山を楽しもう	1月29日(土) (日帰り)	40名
異年齢生活体験推進事業	11月27日(土) ~ 28日(日) (1泊2日)	各回
園 なかよし合宿	1月22日(土) ~ 23日(日)	36名
国 ひな人形づくり教室	2月5日(土) (日帰り)	40名
国 ものづくり体験クラブ	2月11日(金) ~ 12日(土) (1泊2日)	30名
定例クラブ事業	4月 ~ 3月(通年) (日帰り)	約100名
国 まなびっこクラブ		
国 まなびっこクラブ宿泊交流会	2月26日(土) ~ 27日(日) (1泊2日)	